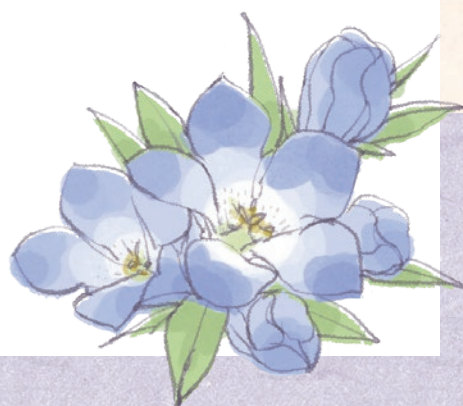


新型コロナで大切な人を亡くされた方
看護や介護にあたられた看護職・福祉職のための

りんどうの会



ともに新型コロナで亡くなられた方を追悼し
想いをわかちあう

10月2日(日)

13時より(受付12時15分から)

- 13時 挨拶
- 13時05分 追悼式(仏式)
- 13時55分 講演「喪失に向き合うために」
黒川雅代子(龍谷大学短期大学部教授)
- 14時45分 わかちあいの会(16時45分終了予定)

◆参加対象

新型コロナで大切な人を亡くされた方
新型コロナ病棟等で新型コロナ患者対応をされた看護職
福祉施設で新型コロナに感染した利用者に対応された福祉職

◆会場

融通念佛宗総本山大念佛寺

大阪市平野区平野上町1-7-26

JR大和路線「平野」駅より南へ徒歩5分

大阪メトロ谷町線「平野」駅 ①②出口より北へ徒歩8分

公共交通機関をご利用ください



開催の願い・お申し込み方法・ご寄付等は裏面をご覧ください。

無料・事前申込制 締切9月30日(金)

主催:「りんどうの会」実行委員会(実行委員長 弘川摩子/大阪府看護協会会長)

開催の願い

私たちはこの約2年半の間、未知の新型コロナウイルスと向き合い、共に尊い命を守りながら生活してきました。国民は、生活の一部を犠牲にしながら自粛をし、看護職ら医療従事者は、一人でも多くの命を救うため懸命にウイルスと対峙し、福祉従事者は、最もリスクの高いとされる方の命を守るために過酷な状況での感染防止に取り組まれました。ですが、ウイルスの猛威の前に、救えない命とも向き合わざるを得ないことも起こりました。

大切な人を新型コロナによる感染症で亡くされた方の多くは、突然の出来事の前で、看病もすることも出来ず、通常の看取り・葬送を行うことさえできないなかで、大切な人の死と直面せざるを得ない状況が続いています。葬送に携わる葬儀関係者、儀礼を司る宗教者もまた、十分に寄り添いきることができない無力感を感じながら、この現実に向き合ってきました。

そのような現実のなかでも生かされている私たちができることとして、亡くなられた方への哀悼の意を示し、新型コロナで大切な人を亡くされたご家族と懸命に命と向き合ってこられた看護職・福祉従事者のためのつとめ「りんどうの会」を開催したいと思います。

「りんどうの会」実行委員長 弘川 摩子
(大阪府看護協会会長)
委員一同

参加者につきまして

「りんどうの会」は、参加される方の場の安全のため、新型コロナで大切な人を亡くされた方、看護・介護に携われた看護職（医療従事者）と福祉従事者の方のみの参加に限らせていただいています。

ご寄付のお願い

「りんどうの会」を開催するにあたり、宗教関係者・市民からのご寄付をお願いしています。開催の願いにご賛同いただけましたら、ご寄付のご協力をお願い致します。ご寄付につきましては、ホームページからお申し込みください。

参加申込方法

Googleフォームによるお申し込み

<https://forms.gle/t4vvueXi4tgY9GAX6>



メールまたはFAX

記入事項

①氏名 ②連絡先（緊急連絡先）

③参加者種別（ご遺族・看護職・福祉従事者）

看護職・福祉従事者の方は、可能であればご所属・職種をご記入ください

事前申込締切9月30日(金)

お申し込み・お問い合わせ先

「りんどうの会」実行委員会事務局

H P: <https://www.rindounokai.net>

メール: okouchi.d@gmail.com

(「りんどうの会」事務局: 大河内)

F A X: 06-6674-1860

(浄土宗願生寺内「りんどうの会」事務局: 大河内)

電 話: 0798-98-2747

(「りんどうの会」実行委員: 関西学院大学悲嘆と死別の研究センター 赤田)

